

- 1 日 時 平成23年11月18日(金) 5校時：3年2組教室
- 2 学年・組 3年2組 (男子17名 女子17名 計34名)
- 3 主題名 4－(3)正義、関連項目4－(1)法の役割、4－(10)人類愛
- 4 資料名 「キング牧師の闘い」(教材開発委員会作)

5 主題について

(1) ねらいとする価値について

この時期の生徒は、社会の在り方についても目を向け始め、現代の社会がもつ矛盾や課題に気づき、理想を求める気持ちや正義感も強くなっていく。その反面、不正な行動や偏見に基づく言動等に対しては、時によくないと思いつつも、周囲の目を意識し、多くの意見や考えに左右されたり、自己中心的な考え方や行動を取ってしまうこともある。

社会の課題に真正面から向き合い、弱者の立場に立って想像をすることを通して、正義を重んじ、差別や偏見のない生き方をしようとする態度を育てること、そして、差別や偏見につながるような身近な問題にも目を向け、正義の通る、明るく平和な社会の実現に努める姿勢の育成に焦点をあてる。

(2) 生徒の実態

本学級の生徒は、明るく、非常に和やかな雰囲気を作り出すことができる。6月に実施した「学校適応感尺度」では、友人や教師サポートを含め、生活満足度において支援が必要と見られた生徒が5名おり、クラスメイトや教師との関わり合いが必要であるという課題があった。しかし10月実施のそれによると、教師やクラスメイトとの関わり合いで支援が必要と見られた生徒は4名になり、そのうちほとんどで向社会的スキルや友人サポートに改善が見られ、受験が本格化する中でも、よりよい人間関係を築いていく基盤はできていると思われる。身近な人間関係を築くことが、社会の課題に向き合う基盤であると考え、良い傾向である。

また、「生活についてのアンケート」を7月と10月に実施した所、概ね初回と比べると規範性は高まっていることがわかる。特に、偏見や差別に結びつくような、「人の悪口を言わないように気をつける」という項目では、「いつもあてはまる」と答えた生徒が4名から7名に増え、「あまりあてはまらない」と答えた生徒が6名から3名に減った。しかしながら、依然として「どんなときもあてはまらない」と答える生徒が1名残っている。しかし生活の様子を観察すると、言葉に対する配慮が足りない場面や、仲良しグループの感じ方と違う者を受け入れられない場面も見受けられる。また、「偏見や差別というのは自分とはあまり関係のないもの」として傍観をするような意識も見とれる。

道徳の時間では、自信をもって自分の意見を発言できる生徒が少ないのが課題である。

6 指導観

(1) 資料について

本資料は、アメリカにおける公民権獲得に貢献したキング牧師を取り上げている。バスの座席を白人に譲らなかったことを理由にパークス婦人が逮捕された、ということ契機として広がりを見せた黒人による抗議運動に焦点を当て、肌の色による差別の理不尽さに気づけるものであり、その上で、その理不尽さに非暴力を貫いて対抗し、差別や偏見のない、正義の通る社会の実現を目指したキング牧師の思いがわかる資料である。

(2) ねらいを達成するための工夫について

本時では、キング牧師が実現させようとした正義とは何かを考えさせたい。ボイコット運動やデモ行進の最中に、暴力による妨害があったにもかかわらず、非暴力にこだわった牧師の思いを印象づけ、同時に牧師の悩みや迷いにも触れて、困難ではあるが、正義を貫くことの尊さを心に残したい。

人種差別のような強い人権侵害は、多くの生徒にとっては未体験ではあるが、当時の人々の立場に立って考えることで、いかに理不尽で不愉快なものかを体験させ、日常で同じようなことがないかどうかを考えさせたい。実生活や実社会で、程度の違いこそあれ、異なるものを排除しようとしていないかどうか、誰かが理不尽に扱われている場面はないかどうか、自己点検をし、差別や偏見のない社会の実現に向けて行動していけるような態度を培いたい。

発言しやすい雰囲気をつくるために、座席の配置をコの字にし、互いの表情が見える場で考えを交流していきたい。

7 本時のねらい

社会の課題に真正面から向き合い、弱者の立場に立って想像をすることを通して、正義を重んじ、差別や偏見のない生き方をしようとする態度を培う。

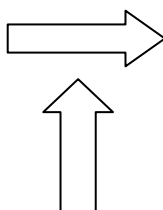
【生徒の今の考えと授業を通して高めたい(気づかせたい)考え】

<生徒の今の考え>

- 差別は、どこか自分と関係のない世界の話のように感じている。
- 悪口は言わないように気をつけるが、気に入らない時には入ってしまうこともある。
- 自分や仲良しグループと違う考え方、感じ方は、受け入れられない。

<高めたい・気づかせたい考え>

- 差別というのは、実は自分にも関係があるもので、差別をなくすためには努力が必要である。
- 気に入らないからといって悪口を言うようなことは差別や偏見につながる。
- 自分と違うからといって、排除しようとするのは、どこか間違っている。



<ねらいとする価値に迫る工夫>

- Coloredの立場で資料を味わうことで、自分にも関係があるかもしれないと感じさせる。
- 差別される立場に共感しながら資料を読みとることで、理不尽さを感じさせる。
- キング牧師の生き方に触れることで、社会の課題を克服するには、努力が必要だと感じさせる。
- 差別や偏見を身近な問題として捉えさせ、自分の生活を見つめさせる。

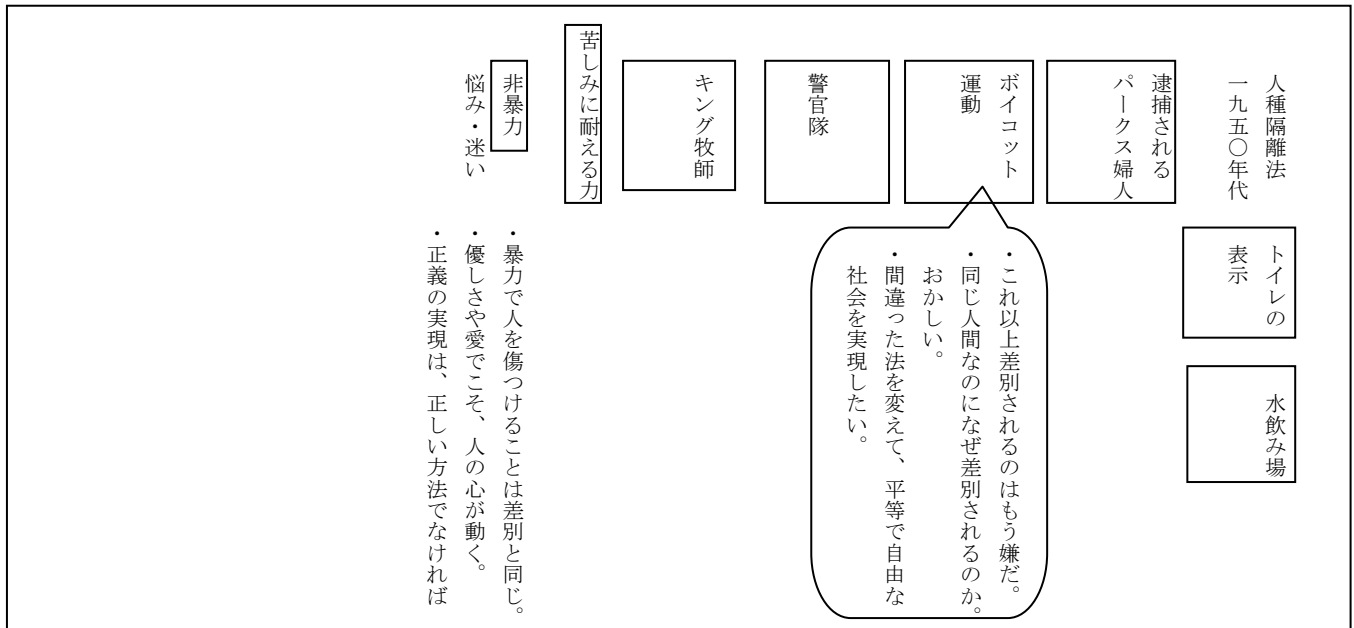
8 準備物 ワークシート、パワーポイント

9 本時の展開

	主な学習活動	支援(◎)と評価(★)
導入	1. トイレや水飲み場の写真を見て、自分が見慣れたそれと何が違うかを気づかせる。	◎ colored というのは何か、ということ伝え、colored の置かれていた状況を知らせる。自分がそのような仕打ちをうけたらどうかを考えさせる。 ◎ 白人、非白人専用のトイレや水飲み場、プール、バスの座席等があったことを理解させる。 ◎ 写真を提示し、当時のアメリカでは非白人が差別される法があったことを知らせる。キング牧師の紹介もする。
展開	2. ビデオを見て考える。 ①抗議運動に参加した人の思い。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 人々は、どのような思いでボイコット運動やデモ行進を行ったのでしょうか。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・これ以上差別されるのは嫌だ。 ・同じ人間なのに、なぜ自分たちだけ差別されるのか。肌の色で差別するなんておかしい。 ・平等で自由な社会を実現したい。 <p>「人々を苦しめるあなたがたの力にわたしは、(苦しみ)に耐える力)で対抗するでしょう」</p>	◎ ビデオ視聴(約9分)の前に時代背景やビデオの内容を簡単に説明する。 ◎ 差別を受ける人達の立場に立たせ、その気持ちをしっかりと考えさせる。 ◎ ボイコット運動やデモ行進の写真を提示し、市警察の妨害行為が子どもを含む、無抵抗な人々へのものであったことを押さえる。 ◎ ()に入る言葉を紹介し、キング牧師の非暴力への強い信念を確認する。

	<p>②非暴力の闘いにこだわったキング牧師の強い信念について考え、グループで話し合い、意見を交流する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">自分たち黒人がこんなにもひどい仕打ちを受けたのに、なぜ、キング牧師は、暴力を使わず闘うことにこだわったのだと思いますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が差別されたからといって、暴力を振るうのはいけない。 ・暴力で人を傷つけることは差別と同じ。 ・優しさや愛でこそ、人の心が動く。 ・正義の実現のためには、正しい方法でなければ、説得できない。 ・暴力に訴えれば早いかもしれない。でも、根本的な考えは変わらないかもしれない。 	<p>◎ グループでの話し合いに際しては、司会役、発表役を決めるとともに、友達の意見に対する質問や感想、意見等を必ず言うよう、事前に指示する。</p> <p>◎ キング牧師自身にも深い悩みや迷いがあったこと、キング牧師は、白人を敵視していたのではなく、当時の法や社会を変えたいと考えていたこと等に気づかせる。生徒の反応に即して、次のような補助発問を行う。</p> <p style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・あまりにもひどい仕打ちに、人々の中には暴力で訴えようとした人もいました。それなのになぜキング牧師は「非暴力」にこだわったのでしょうか。暴力に訴えようとは思わなかったのでしょうか。 ・なぜ人々は黒人を差別していたのでしょうか。警察官や消防士たちは、黒人たちが嫌いだったから妨害行為を行ったのでしょうか。 </p>
展開	<p>3. 資料の音読を聞き、キング牧師が目指した「正義の実現」について考える。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">キング牧師は「正義を実現させる」ことで、どのような社会を実現したかったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・差別のない社会。 ・肌の色や見かけで人が差別されない社会。 ・みんなが安心して暮らせる社会。 <p>○人らしく生きる自由や権利が誰にでも保障される社会になること。</p> <p>○間違った法律が改正され、人間の自由や平等を保障する法律がつけられること。</p>	<p>◎ ②で生徒から「正義」という言葉が出ていれば、それを深める形で3の発問を行う。</p> <p>★人権や法と、正義との関係を捉え、正義の通る社会を実現することの大切さについて、考えを深めている。 (ワークシート、発表)</p>
	<p>5. 自己を振り返り、キング牧師の生き方から学んだことをワークシートにまとめ発表する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">自分を振り返りキング牧師の生き方から学んだことをまとめましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分と違うものを排除しようとする気持ちが自分にもあったことに気づかされた。 ・お互いの違いを認め合うことが大切。 ・正しいことは人を大切にすることとつながると思った。 ・キング牧師のような生き方はできないかもしれないけど、弱い人を助けた生き方はすばらしいと思った。 	<p>◎ 人種隔離法の撤廃や公民権の制定、ノーベル平和賞の受賞等について確認する。</p> <p>◎ キング牧師の悩みや迷い、信念等と自分の考えとの共通点や相違点をもとに、これからの生き方についてしっかりと考えさせるようにさせる。また、当時の社会同様、自分の中にも自分と違うものを排除しようとする気持ちがないか語りかけ、自分自身の問題として考えさせる。</p> <p>◎ 3、4人の感想を紹介し、生徒の考えの深まりや実践意欲の高まりを確認し合い、肯定的に評価する。</p>
終末	<p>6. キング牧師の演説を聞く。(約2分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キング牧師の演説のビデオを視聴して余韻を残して授業を終わる。 	

7. 板書計画



<参考文献等>

- 『伝記世界を変えた人々2 キング牧師』V・シューデト・P・ブラウン著、偕成社、1991年
- 『キング牧師のかぶよいことば』(絵本)ドリーン・ラパポート著、ブライアン・コリアー絵、もりうちすみこ訳、国土社、2002年
- 『マーティン・ルーサー・キング・ジュニア』フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』HP
- NHKテレビ『その時歴史は動いた I Have a Dream ～キング牧師のアメリカ市民革命～』
2009年2月11日放送